

(財) 原子力環境整備促進・資金管理センター

第18回 最終処分積立金運用委員会 議事録

1. 日 時 平成21年 5月27日 (水) 16:00～17:30

2. 場 所 東京都港区虎ノ門4-1-1
虎ノ門パストラルホテル 新館4階 ミントの間

3. 委員の現在数 4名

4. 出席した委員の数及び氏名

委員長 浅野 幸弘
委 員 神谷 高保
委 員 中村 実
委 員 山崎 元

以上 4名 出席

5. 議 題

I. 最終処分積立金運用実績 (報告)
(平成20年度実績及び平成21年5月末時点見込)

II. 保有事業債の格付動向等について (報告)

6. 開 会

事務局から、本日の最終処分積立金運用委員会は、同委員会運営規則第4条の規定による定足数を満たしているので、有効に成立している旨の報告があった。

続いて、井上毅理事長から挨拶を述べた後、放射性廃棄物等対策室長の渡邊氏よりご挨拶を頂き、委員長は審議に入った。

7. 議事の概要

事務局から、上記5. の議題について下記の説明を行った。

I. 最終処分積立金運用実績 (平成20年度実績及び平成21年5月末時点見込)

第一種最終処分積立金の平成20年度運用額は、平成19年度積立金受入分から原環機構への取戻額を差し引いた額に、当期の利息収入を加え、785億円となった。

運用内訳は、国債367億円(48%)、政府保証債85億円(12%)、地方債127億円(18%)、事業債205億円(22%)と、ほぼ計画通りの運用を達成できた。

平成20年度購入債券の平均利回りは1.49%で、運用の評価基準となる同時期における長期国債応募者利回りを運用計画に基づく月々の購入予定額で加重平均した利回り1.40%を上回った。

平成21年度運用額は、平成20年度積立金受入分から原環機構への取戻額を差し引いた額に、当

期の利息収入を加えた695億円を見込む。平成21年5月末現在、ほぼ計画通り運用を実施している。

※ 年度運用対象期間は3月から2月まで。

第二種最終処分積立金の平成20年度運用額は、平成20年7月に受け入れた積立金から原環機構への取戻額を差し引いた額に、当年度の利息収入を加え34億円となった。

平成20年度は、同積立金の中長期的なキャッシュ・フローを考慮し、手元流動性の確保並びに運用収益の確保を配慮して運用額全額を短期運用した。

平成21年度運用額は、平成20年度積立金受入分から原環機構への取戻額を差し引いた額に、当期の利息収入を加えた65億円を見込む。平成21年5月末現在、ほぼ計画通り運用を実施している。

※ 年度運用対象期間は3月から2月まで。

(ただし、平成20年度運用期間は7月から2月まで。)

上記Ⅰ. の報告について意見交換を行った。

Ⅱ. 保有事業債の格付動向等について

(報告)

保有事業債の格付状況、平成20年度決算状況・平成21年度見通し、要注意銘柄の詳細及び保有地方債の格付状況、無格付地方債のTスプレッド(国債との利回り差)の推移について説明を行った。

上記Ⅱ. の報告に対し今後の管理・運用についての意見交換を行った。

9. 次回スケジュール

平成22年1月下旬を目途に開催することになった。

10. 閉 会

以上をもって議事全てを終了し、委員長は閉会を宣した。

<委員会で寄せられた意見>

Ⅰ. 最終処分積立金運用実績(平成20年度実績及び平成21年5月末時点見込)

○計画通りに運用されており、運用を開始して10年程経って大分安定感が出てきている。保有債券の格付信用状況が今後の問題として心配になってきているところではあるが、現状の運用としては、妥当なものとする。

○3月、4月に需要圧力が強く政府保証債、政地債の購入が難しかったようであるが、これは、異例の出来事であったこと、1~2ヶ月で調整が出来るようなので問題ないとする。

○運用開始後10年目を迎えており、次年度以降満期になってその再投資となることから、運用投資額が大きくなるため検討が必要となってきたと考えている。

II. 保有事業債の格付動向等について

○企業収益が急速に悪化している経済環境に伴い、格下げによる債券売却の恐れがあることから、曖昧な処理とならないよう売却に関する内部的ルールの明確化が必要と考える。会計処理の問題を含めたルールの明確化が必要である。

○無格付地方債のTスプレッドの推移をみると、今のところ判断する限り無格付になったことによって不連続な変化は起こっていないと考える。

○地方債において、現時点で個別銘柄で特に対処を要するものはないが、今後、制度全体として大きな変化が起こる可能性があり、財政収支等を含めて動向に注意していく必要がある。

事務局：資金管理業務部 TEL：03-3534-4581